平成 24 年度

教育委員会活動の自己点検・評価報告書

平成 25 年 4 月 1 日

桂川町教育委員会

平成 24 年度　桂川町教育委員会活動の自己点検・評価報告

Ⅰ．目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 27 条の規定により、平成 24 年度桂川町教育委員会がその権限に属する事務の執行状況の自己点検 ・評価を行いましたので、その結果を公表いたします。

Ⅱ．点検評価内容

大項目	中　項　目	小 項 目	点 検 ・ 評 価
1　教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議	①教育委員会会議開催の回数	毎月1回、年間12回の定例会及び１回の臨時会を開催した。(資料:1-(1)-①)
		②教育委員会の運営上の工夫	常に委員全員が共通認識・共通理解が持たれるよう、教育長の報告の下に連携をとりながら、委員会で活発な意見交換を行った。
	(2)教育委員会と首長の関係	○教育委員会と首長との意見交換の実施	本年度は9月に町長との意見交換会を実施した。本町の教育全般にわたり、自由で活発な意見交換ができた。
	(3)教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	県教育委員会、県教育委員会連絡協議会、PTA関係、その他諸機関の研修会など全員の参加体制をとってきた。なお、先進地への視察研修は実施できなかった。(資料:1-(3))
	(4)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	年度初めの教育委員会独自の各校訪問及び、筑豊教育事務所の授業充実訪問時において指導助言、「学校開放日」の訪問指導等を行った。(資料:1-(4))
		②所管施設の訪問	本年度は、7 月に総合体育館や王塚装飾古墳館外 8 か所の所管施設と嘉穂総合高校の視察を実施した。
2　教育委員会が管理・執行する事務	(1)教育行政の運営に関する基本方針を定めること	「桂川町教育行政の目標と主要施策」「幼稚園・学校教育基本計画」の内容を各校長及び園長に指導、指示を行った。	
	(2)教育委員会規則・規定の制定、又は改廃	要綱・規則等を 5 本制定(一部改正)した。(資料:2-(2))	
	(3)教育予算に関すること	教育予算全般について校長等からヒアリングを行い、町長と協議・要請し、予算の確保に努めた。	
	(4)校長・教頭等の人事の内申	校長・教頭の業績評価及び自己評価その他資料を中心に教育委員会で厳正に評価し、内申してきた。	
	(5)県費負担教職員の人事の内申	校長の具申を尊重し、内申してきた。	
	(6)教育委員会の所管に関する各種委員会の委員の任命、または委嘱	本年度は 5 件。社会教育課・学校教育課及び必要に応じて学校長や関係機関と合議の上、円滑に進めてきた。(資料:2-(6))	
	(7)教科用図書の採択	本年度は、教科用図書の新規採択はなかった。	
	(8)生涯学習に関すること	社会教育・社会体育等の学習機会を提供し、生涯学習の充実に努めた。　(資料:2-(8))	
	(9)青少年の健全育成	「夢・人・未来塾」やひまわりアンビシャス広場等各種団体と連携を図り事業を実施。また、補導員会及び青少年問題協議会等との連携を図り、青少年の健全育成に取り組んだ。(資料:2-(9))	
	(10)文化活動の振興と文化資源の保存・活用	王塚古墳の年2回の特別公開や民俗文化財の基礎調査を実施。また、文化連合会との連携を図り、文化祭等を通して町民文化の振興に努めた。(資料:2-(10))	
	(11)人権・同和問題の教育・啓発	学校教育においては、発達段階に応じた人権教育を実施。社会教育では、全行政区を対象に、人権・同和問題地域懇談会を実施するとともに、人権・同和問題強調月間に合わせて、人権講演会などを開催し、住民啓発に努めた。(資料:2-(11))	
3　教育委員会が教育長に委任する事柄	(1)豊かな心と確かな学力を育む学校教育の充実	①　学力の向上を図る教育の充実	小中学校で少人数学級を推進。福岡学力アップ推進事業(小中3校)の推進を図るとともに、条件整備面での支援、学校訪問時の指導助言等を行ってきた。「土曜学習教室」を 6 月から 2 月までの第2・4土曜日に、約 90 人の希望者を対象に実施した。
		②　体力向上の推進	休み時間等を利用して、桂川小学校は「スポコン広場」、桂川東小学校では「なわとび検定」などを実施。スポーツの楽しさを味あわせ、運動習慣を確立する施策を推進した。
		③　心の教育を支える生徒指導の充実	各校の教育目標の重点課題として捉え、指導の徹底を指示してきた。

3 教育委員会が教育長に委任する事柄		④読書活動の充実	子ども読書活動推進計画に基づき、読書タイム、ボランティアによる読み聞かせの実施などに努めた。
	(1)豊かな心と確かな学力を育む学校教育の充実	⑤　子ども一人ひとりを大切にする特別支援教育の推進	学校教育法に基づき、小中学校に特別支援教育支援員及び介助員を町費で配置した。
		⑥　開かれた学校経営の推進	学校開放日(各学校年3回)の設定及び広報「けいせん」に教育情報「桂川っ子」を教育委員会及び3校1園で順番に掲載し、開かれた学校づくりに努めた。
		⑦　指導力アップをめざした研修会等の実施	校長研修会2回、主幹教諭研修会を3回実施。 全教職員の研修会を 3 回、学力向上検討委員会を 3 回実施した。（資料:3-(1)-⑦)
	(2)食育の推進	給食共同調理場を起点にした学校給食の充実	安全・安心な食材の購入を図るとともに、町商工会を通じ地産地消に努めた。アレルギー対応食も実施。
	(3)地域ぐるみで支え合う教育活動の充実	子どもの生きる力を育む家庭・地域の教育力の向上	「生き生き桂川っ子」総合推進事業によるあいさつ運動の取り組みを行うとともに、地域への協力依頼や広報「けいせん」に関係記事を掲載した。(資料:3-(3))

総合点検・評価	教育委員5人が互いに連携し、定例教育委員会や臨時教育委員会で学校教育、社会教育に関する意見交換をし、円滑な教育行政の在り方や町教育の向上に努めてきた。全体としては望ましい方向へ進んできているので、定着させるためにさらに努力を続けていきたい。 5 年目となる教育委員会の自己点検・評価であるが、今後も、毎年度の評価を重ねることにより、事務事業の改善を図り、効果的・効率的な教育行政を推進していきたい。

教育委員会会議（定例会）　　1－(1)－①

回	月　日	協　議　事　項	報　告　事　項	連　絡　事　項
1	H24.4.25	・教育委員長職務代理者の指定について ・町内教育関係施設の視察について ・教育ビジョンについて ・学習規律・授業規律等の作成について ・学校給食における地産地消について ・入学式等の式典におけるマナーについて	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（３月分） ・教育委員会要綱の制定について ・23 年度の桂川中学校卒業生の進路について ・教職員の離・赴任者について ・議事録の公開について ・24 年度社会教育関係事業計画について	・王塚古墳春の一般公開（４月 14 日～15 日） ・桂川町文化連合会総会（4/6） ・桂川町体育協会総会（4/23） ・桂川町子ども会指導者連絡協議会総会（4/24） ・桂川町婦人会総会（5/19） ・当面の行事予定
2	H24.5.25	・自治基本条例「みんなで考える委員会」委員の推薦 ・土曜塾について ・町内の危険個所及び通学路について	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（4 月分） ・幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について ・就学援助費交付要綱の一部改正について ・学校・幼稚園訪問及び町内小中学校公開日について	・ことぶき大学講座開講式(5/15) ・町補導員会総会（5/29） ・第 21 回町民ゴルフ大会（5/27） ・第 17 回ゲートボール大会（6/3） ・「生き生き桂川っ子」総合推進協議会（6/6） ・町Ｐ親善スポーツ交流会（6/9） ・第 36 回分館対抗バレーボール大会（6/17） ・当面の行事予定

3	H24.6.25	・福岡県中学校総合体育大会開催に伴う共催・後援等について ・桂川小学校体育館について ・教職員への町主催研修会の実施について ・教育ビジョンについて	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（5 月分） ・自治基本条例みんなで考える委員会の委員名簿について ・筑豊市町村教育委員会連絡協議会委員会・総会について ・県市町村教育委員会女性教育委員研修会 ・土曜学習教室について	・桂川中学校学校訪問（6/25） ・桂川小学校授業充実学校訪問（6/29） ・生き生き桂川っ子あいさつ運動（7/2） ・通学合宿・野外体験キャンプ（7/8～7/14） ・人権・同和問題市民講座（7/1） ・第 5 回文化連合会フェスティバル（7/22） ・子育てを考える地域懇談会（7/23・24・27） ・盆踊り講習会（7/25～7/26） ・小・中学校 1 学期終業式（7/20） ・当面の行事予定
4	H24.7.25	・王塚古墳テーマパーク防犯カメラ運用規則の制定について ・小学校の夏休みプール開放について ・子育てを考える地域懇談会について ・町長と教育委員の懇談会について	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（6 月分） ・嘉飯地区・筑豊地区中学校総合体育大会結果について ・夏休み期間中の学校施設修繕等について ・町内の河川・ため池等への巡回について ・図書館長の退職について	・夏休み小学校プール開放（7/23～8/17） ・夢・人・未来塾（川遊び）（7/29） ・ミニ企画展・平原健二炭鉱コレクション（8/4～8/26） ・夏まつり桂川（8/18・19） ・戦没者追悼式（8/26） ・教職員全員研修会（8/27） ・当面の行事予定

5	H24.8.27	・いじめ問題について ・町長と教育委員との懇談会について ・子どもの低体温化に伴う基礎体温調査について（県市町村教育委員会女性教育委員研修会より）	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（7 月分） ・中体連夏季大会（県）の結果について ・市町村教育委員等人権・同和関係研修会について ・桂川東小学校の低学年用プールについて ・夏まつり桂川へ参加について（盆踊り）	・子ども会球技大会（8/5） ・第 5 回分館対抗ソフトバレーボール大会（9/2） ・第 17 回桂川町教育シンポジウム（9/14） ・県民体育大会夏季大会（8/26） ・県民体育大会秋季大会（9/22～9/23） ・人権・同和問題地域懇談会（10/1～10/31） ・当面の行事予定
6	H24.9.26	・教育シンポジウムについて ・運動会について ・いじめ問題について ・通学路の点検について	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（８月分） ・町長との懇談会について ・就学前健康診断について ・夏休み中の修繕等について結果報告 ・体力テストの結果について	・桂川小・東小運動会（9/30） ・桂川幼稚園運動会（10/7） ・通学合宿・野外体験キャンプ（10/8～10/13） ・第 11 回ときめきウォーク（10/14） ・王塚古墳特別公開（10/20・21） ・第 54 回分館対抗ソフトボール大会（10/28） ・第 44 回桂川町文化祭（11/3・4） ・当面の行事予定

7	H24.10.25	・土曜授業実施検討委員会委員の選任について ・王塚古墳の特別公開について ・学校管理職選考試験の実施について ・幼稚園における園児の服装について	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（９月分） ・中体連新人大会の結果報告について	・就学前健康診断（10/18） ・校長・園長研修会（10/29） ・教頭研修会（10/29） ・桂川幼稚園研究発表（11/8） ・桂川中学校文化発表会（11/3） ・町内統一学校公開日（11/17） ・県教育力向上県民フォーラム（11/25）苅田町 ・当面の行事予定
8	H24.11.26	・町学力向上検証委員会について ・教育ビジョンについて ・子育て３法について	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（10 月分） ・第２回土曜授業検討委員会報告 ・中高一貫校に関する説明会報告	・文化事業（11/18） ・桂川小・桂川東小太鼓交流会（11/30） ・人権啓発交流フェスティバル（12/8） ・青少年問題協議会（12/6） ・桂川中２年生修学旅行（12/3～12/5） ・成人式（1/13） ・当面の行事予定
9	H24.12.25	・平成２４年度全国学力・学習状況調査、福岡県学力調査の結果分析 ・教育ビジョンについて ・学校訪問について	・管内教育長会報告 ・町内校長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（11 月分） ・１２月町議会報告 ・筑豊地区教育力向上県民フォーラム ・年度末・始の学校行事予定について	・教職員全員研修会（12/26） ・県論文表彰式（1/7） ・幼・小・中学校三学期始業式（1/8） ・人事ヒアリング（1/15～17） ・定数要望行動（1/24） ・当面の行事予定

10	H25. 1.25	・卒業式・入学式等の告辞について ・平成 24 年度教育委員会活動の自己点検・評価 ・25 年度桂川町教育行政の目標と主要施策	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（12 月分） ・年度末・年度始の行事日程（変更分） ・桂川小学校のスポコン広場福岡県大会出場について ・桂川幼稚園のインフルエンザによる休園について	・筑豊地区教育力向上県民フォーラム（1/26） ・「生き生き桂川っ子」挨拶運動（2/1） ・町内統一学校公開日（2/2） ・子ども会ドッチビー大会(2/10) ・学力向上検証委員会（2/20） ・当面の行事予定
11	H25. 2.25	・町人権センター運営審議会委員の推薦について ・町障害者施策推進協議会委員の推薦について ・桂川町体育施設の設置及び管理等に関する条例の一部改正について ・平成 24 年度教育委員会活動の自己点検・評価 ・25 年度桂川町教育行政の目標と主要施策	・管内教育長会報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（１月分）	・スポコン県大会 ・町議会３月定例会 ・小中学校卒業式、幼稚園卒園式 ・当面の行事予定

12	H25. 3.25	・25 年度幼稚園・学校教育基本計画 ・町人権・同和問題協議会委員の推薦について ・健康づくり推進協議会委員の推薦について	・管内教育長会議報告 ・生徒指導上の諸問題実態調査（２月分） ・３月議会の報告 ・平成 25 年度教育関係予算	・離任式・赴任式 ・小中学校入学式、幼稚園入園式 ・当面の行事予定

教育委員会会議（臨時会）

第１回

〇平成２４年１１月２０日（火）　県費負担教職員管理職任用試験受験者の面接実施
（桂川小学校　２人・桂川東小学校　１人、桂川中学校　３人　合計 ６人）

1－(3)

平成 24 年度　教育委員研修会等への参加状況

No.	内　　容	日 程	研 修 先
1	教職員赴任式	4 月 2 日	住民センター
2	町内校長研修会①	4 月 17 日	住民センター
3	福岡県市町村教育委員会連絡協議会	4 月 22 日	福岡市
4	女性教育委員研修会	5 月 16 日	福岡市
5	学力向上検証委員会①	6 月 27 日	住民センター
6	人権・同和問題「市民講座」	7 月 1 日	住民センター
7	筑豊地区市町村教育委員会連絡協議会総会	7 月 19 日	飯塚市
8	子育てを考える地域懇談会	7月 18～20 日	各行政区
9	市町村女性教育委員協議会	7 月 30 日	福岡市
10	市町村教育委員会連絡協議会役員会	8 月 17 日	福岡市
11	人権同和研修会	9 月 13 日	住民センター
12	教育シンポジウム	9 月 14 日	住民センター
13	町長との懇談会	9 月 26 日	役場
14	社会教育委員等研修会	11 月 13 日	福智町
15	学校管理職昇任面接	11 月 20 日	住民センター
16	学力向上検証委員会②	11 月 26 日	住民センター
17	人権啓発交流フェスティバル	12 月 4 日	飯塚市
18	教育力向上福岡県民フォーラム	1 月 26 日	田川市
19	筑豊地区市町村教育委員会連絡協議会	2 月 15 日	飯塚市
20	学力向上検証委員会③	2 月 20 日	住民センター

21	教育委員(初任者)研修会	2 月 22 日	福岡市
22	町内校長研修会②	3 月 18 日	住民センター
23	教職員離任式	3 月 29 日	住民センター

1－(4)

平成 24 年度　教育委員学校等訪問

No.	内　　容	日　程	訪 問 先
1	中学校入学式	4 月 9 日	桂川中学校
2	小学校入学式	4 月 10 日	桂小・東小
3	幼稚園入園式	4 月 11 日	桂川幼稚園
4	中学校体育会	5 月 20 日	桂川中学校
5	定例小学校訪問	6 月 8 日	桂川東小学校
6	定例幼稚園訪問	6 月 22 日	桂川幼稚園
7	定例中学校訪問	6 月 25 日	桂川中学校
8	定例小学校訪問（兼、教事学校訪問）	6 月 29 日	桂川小学校
9	町内公共施設訪問	7 月 25 日	町内
10	中学校合唱鑑賞会	9 月 12 日	桂川中学校
11	桂川東小学校運動会	9 月 30 日	桂川東小学校
12	桂川小学校運動会	10 月 3 日	桂川小学校
13	幼稚園運動会	10 月 7 日	桂川幼稚園
14	中学校文化発表会	11 月 3 日	桂川中学校
15	幼稚園研究指定委嘱校発表会	11 月 8 日	桂川幼稚園
16	小中学校公開日	11 月 17 日	3校
17	桂小・東小太鼓発表会	11 月 30 日	住民センター
18	幼稚園生活発表会	12 月 11 日	住民センター
19	学校公開日	2 月 2 日	3校
20	幼稚園音楽発表会	2 月 17 日	桂川幼稚園
21	中学校卒業証書授与式	3 月 14 日	桂川中学校
22	小学校卒業証書授与式	3 月 18 日	桂小・東小
23	幼稚園卒業証書授与式	3 月 21 日	桂川幼稚園

２－（２）

教育委員会規則等の制定

制定年月日	規則等の種別	規則等の名称
平成 24 年 5 月 10 日	要　綱	桂川町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
平成 24 年 5 月 21日	要　綱	桂川町立小・中学校就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
平成 24 年 7 月 10 日	規　則	桂川町立学校教育職員の給与及び勤務条件等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
平成 24 年 7 月 25 日	規　則	王塚古墳テーマパーク防犯カメラ運用規則の制定について
平成 24 年11月 19 日	規　則	桂川町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
平成 25 年 3 月 27 日	要　綱	桂川町立図書館館長の任用等に関する要綱
平成 25 年 3 月 27 日	規　則	桂川町体育施設の使用規則の一部を改正する規則の制定について

２－(6)

教育委員会の所管する各種委員会等への委員の任命、委嘱

委嘱年月日	任　期	委　　嘱　　名	委嘱者数
平成 24 年 4 月 1 日	1年	桂川町学校評議員	3人
平成 24 年 4 月 1 日	2年	桂川町学校給食共同調理場運営委員	12 人
平成 24 年 4 月 1 日	2年	桂川町公民分館長	34人
平成 24 年 4 月 1 日	2年	桂川町人権･同和問題協議会委員	2人
平成 24 年 6 月 1 日	3年	桂川町青少年補導員会委員	48人
平成 24 年 6 月 1 日	3年	桂川町青少年問題協議会委員	4人

２－(6)の参考資料

教育委員会の所管する各種委員会等

委員会等名称	任　　期	委員数
桂川町学校評議員	平成24年4月1日～平成25年3月31日	9人
桂川町学校給食共同調理場運営委員	平成24年4月1日～平成26年3月31日	4人
桂川町公民分館長	平成24年4月1日～平成26年3月31日	34人
桂川町文化財保護審議会	平成23年4月1日～平成25年3月31日	7人
桂川町スポーツ推進委員	平成23年4月1日～平成26年3月31日	10人
王塚古墳テーマパーク運営企画委員会	平成23年5月1日～平成25年4月30 日	8人
桂川町人権・同和問題協議会	平成23年5月1日～平成25年4月30 日	21人
桂川町青少年補導員会	平成24年6月1日～平成27年5月31日	48人
桂川町立図書館協議会	平成23年6月1日～平成25年5月 31 日	8人
桂川町社会教育委員	平成23年6月1日～平成25年5月 31 日	10人
桂川町青少年問題協議会	平成23年6月1日～平成26年5月31日	26人
桂川町人権センター運営審議会	平成24年2月1日～平成25年3月31日	6人

２－（８）
生涯学習に関すること

事業名：桂川町社会教育委員の会議

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	社会教育委員の会議の活性化のため、多くの課題を提示し、委員の意見の集約をするとともに、委員研修等行い会議の充実を図る。
事業実績	平成23年6月から新委員の構成で､新たな発想のもと活発な意見が出された。県や筑豊地区の研修会にも積極的に参加している。
総合評価	社会教育委員として何をすべきかを、委員全体で考える姿勢ができている。研修会等に参加することにより、他市町村の社会教育委員との交流、情報交換で参考になることは積極的に取入れている。これからも社会教育関係に対しての助言・指導を行っていくことが期待できる。

事業名：住民センター事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	住民センターの利用促進を図る。
事業実績	住民センターの利用頻度は、近隣市町と比してかなり高いものとなっている。毎週・毎月定例で開催されているサークルをはじめ、定期演奏会、学校活動（ＰＴＡ活動を含む)、各種会議等で、繁忙期には、ほとんどの部屋が利用されているため、臨時的利用者が利用できない場合もある。
総合評価	各種研修会・会議等の利用においては、利便性もよく、有効に利用されている。また、サークル活動でも幅広い分野において、利用されている。

事業名：ことぶき大学講座

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	60歳以上の住民を対象に､生きがいづくり･生涯学習の充実を図るため園芸･習字・民謡・陶芸・教養の各講座を実施。
事業実績	各講座とも定員に近い受講申込があり、教養・専門講座ともに理解を深め、成果をあげている。
総合評価	各講座とも出席率は高いが、同じ人が毎年同じ講座を受講していることも多く、募集方法を検討し、新たな受講生を増やすことも課題だと思われる。その一環として平成23年度から書道においては、初心者コース・経験者コースを設けて実施した。今後は、講座の種類も検討が必要であるし、講師も高齢化しているため、人材の発掘も必要と思われる。

事業名：ボランティア人材バンク

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	各種事業におけるボランティアの確保
事業実績	各種事業を行うための人材を確保することは、多様な技能を持つ個人・団体の協力が必要となる。また、子ども向けの事業を行うときは見守りの人材も必要である。そのため、町広報紙やポスターを作成しボランティア登録の呼びかけを行った。また、教育事務所や町社会福祉協議会のボランティア登録者とも連携し、多種多様な人材の確保に努めた。
総合評価	夢・人・未来塾を始め、夏休みの子どもたちの見守り事業や通学合宿では、多くの方々にも協力をいただいた。しかし、町内には多くの特技を持った方々が在住されていると思われるので、その発掘に努めなければならない。そのための、ネットワークづくりも必要と思われる。

事業名：社会教育における学校支援事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	学校に対する学校支援ボランティアの登録の推進を行い、ゲストティーチャー派遣や出前塾による「ものづくり体験」等にボランティア派遣を実施する。
事業実績	学校支援ボランティア登録は徐々に増えつつあり、授業や部活に講師や指導者を派遣している。また、小学校から依頼の世代間交流等体験授業の手伝いを実施している。その内容は、昔遊び、陶芸、ものづくり等が主なものであり、ことぶき大学受講生にも依頼している。
総合評価	学校支援には、多くの支援メニュー（学習支援・部活支援・図書補助・環境整備・登下校の安全確保等）が必要とされる。学校支援ボランティア登録を推進し、学校の要請に答えられるよう学校の年間カリキュラムに沿った支援体制を確立する必要がある。

事業名：桂川町婦人会助成事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	婦人会活動支援のための助成
事業実績	近年の女性を取り巻く状況に鑑み、活発な女性の意識向上を図るための、各種学習会・研修会を開催してきた。また、「夏まつり桂川」や「夢・人・未来塾」等の各種事業開催時には、積極的に参加・協力した。
総合評価	女性の意識向上・生活向上を目指し活発な活動を行っている。図書読み聞かせサークル「きんもくせいの会」へ参加し、子どもへの読み聞かせに寄与している。健康、食育、環境等多くの課題に対する学習会・研修会を催し、町の行事にも積極的に参加協力を続けている。会員が高齢化していることから、

	会員の確保・拡大に取り組む必要がある。

事業名：嘉穂総合高校との連携事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	町と高校との連携・協力を図る。
事業実績	出張あおぞら市の農産物販売は、非常に人気があり、販売からすぐに完売するなど、住民の方に定着しており、行政区の中には学生と花を植えているところや小学校で児童との園芸など、総合高校に期待するところは大きい。
総合評価	総合高校は多様な学科を持ち、各種イベントや事業にとっても、魅力ある存在である。子どもたちとの交流では、動物とのふれあい等に高校生の協力を得られた。これからも、各種イベント等高校生の力に期待し、協力を依頼していきたい。また、補導に関しても、高校の先生をはじめ、多くの高校ＰＴＡ（保護者）の連携・協力が得られたことは、町の青少年育成において大きな成果であった。

事業名：地域公民館助成金等事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	公民館分館（地域公民館）の活動に対する助成
事業実績	34 公民館分館活動に対し定額の助成を行う。
総合評価	分館長からは、少ない予算ではあるが、分館の維持・活動には大いに役に立つとの声がある。また、大小の分館があり、多くの事業を行っている分館、あまり活発でない分館等、分館毎に差異がみられる。分館事業へ社会教育として、今後とも支援していかなければならない。

事業名：体育指導委員会事業（スポーツ推進委員会）

担当課係	社会教育課　社会体育係
事業概要	スポーツ推進委員の資質向上や他市町でのスポーツ活性化事業等の学習のため、毎月１回の定例会の開催や各種研修会に参加。それを基礎に、町民に対し事業展開を図るため、事業の広報・企画・運営・実施を行う。
事業実績	毎月１回の定例会を実施し、ニュースポーツを始め多種多様なスポーツの推進に努めた。各行政区の主催するスポーツ交流会に指導員として参加。主な取り組みとして、ニュースポーツイベント（「ペタンクを楽しもう!!」）や、「ときめきウォークｉｎけいせん（ウォークラリー）」を継続開催。更には、子どもを対象とした「わくわくスポーツ体験塾」を継続開催するなど幅広い年齢層の町民へのスポーツ普及・発展に努めた。
総合評価	委員１０名で、多くの事業に積極的に取り組むことができた。どの事業も参加者拡大や内容充実を図るための協議を重ね、継続実施を行い町民のスポーツ発展と健康増進に寄与されたものと思われる。

事業名：各種運動教室実施事業

担当課係	社会教育課　社会体育係
事業概要	多くの町民が健康保持のため、スポーツに親しんでいただくことを主眼に、各種スポーツ教室及びスポーツ大会を実施する。
事業実績	各種運動教室は、健康体操・ウォーキング・エアロダンス・ソフトエアロ教室の４教室を総合体育館で開催した。 各種スポーツ大会は、町民ゴルフ、ゲートボール、町長杯グラウンド・ゴルフ大会を継続開催し、一人でも多くの町民がスポーツを通じ健康増進が図れるよう努めた。
総合評価	各種運動教室は、毎年定員になるほど参加者数が多く好評であり、固定参加にならないよう開催時期や時間帯を分けることで新規の参加拡大を図り、広く町民へ推進することができた。今後も町民のニーズに合った様々な種類の教室を開催し、内容充実を図る。 各種スポーツ大会は、参加者拡大や内容充実を図るため、各クラブ、協会と協議を重ね、連携した取り組みができた。

事業名：体育施設管理・運営事業

担当課係	社会教育課　社会体育係
事業概要	体育施設（総合体育館・総合グラウンド・テニスコート・第一町民グラウンド・全天候型ゲートボール場・グラウンド・ゴルフ場・勤労者体育センター・各学校体育館及び運動場・湯の浦総合キャンプ場）の有効利用を促進する。また、利用しやすい施設にする。
事業実績	各施設とも概ね定期的な利用があるが、老朽化が進んだ施設が多く、今後、補修等の必要がある。 総合体育館は、新規事業として、トレーニングルームに平成 24 年度からスポーツトレーナー（現役トライアスロン選手）を週 2 日（1 回 3 時間）設置し、器具の使い方や正しいトレーニング方法を指導してもらった。アリーナでは、町内のクラブチームが定期的な練習を行っており、土・日には空きがない程、小学生から大人まで多種多様な大会が開催され、大いに賑わっている。屋外施設においては、天気に左右されるもののクラブチームの練習や各種大会が開催された。 また、グラウンド・ゴルフ場は、町内外問わず土・日・祝日に限らず平日の利用も多く、様々な大会が開催されるなど好評である。
総合評価	総合体育館は、アリーナも広く、また、駐車場が広いことから、総合グラウンドと同様、福岡市や北九州市の中心地という面もあり、多種多様な大会が開催され、利用者が多い。また、スポーツトレーナーを設置したことで、今まで体育館を利用したことのない新規の利用者拡大にも繋がった。グラウンド・ゴルフ場は、県内でも数少ない認定コースであり、町外の利用も多い。

	今後も利用者拡大に向け、十分な整備が必要である。また、全体的に経年劣化による施設の修繕箇所が発生しているため、計画的な施設改修を行う必要がある。

事業名：体育協会助成事業

担当課係	社会教育課　社会体育係
事業概要	体育協会活動・運営に対する助成
事業実績	分館対抗バレー・ソフトボール等、町全体での大会を継続開催し、町民の健康増進、地域交流の場となった。また、各クラブの活動支援等を行い、専門部の主管する大会の開催など、活動も年々邁進している。また、総合型地域スポーツクラブ「ｅ－ｓｐｏｔけいせん」も精力的に活動を行い、協会もバックアップしている。県民体育大会（夏季・秋季）では、毎年、多種目に継続参加し、資質向上に繋がっている。役員・会員等の意識・資質向上のための研修会も行い、協会の独自性を発揮できるよう努めた。
総合評価	一大イベントである分館対抗バレー・ソフトボール大会を無事に継続開催できたことで、より一層地域の交流・親睦を深める場となった。 予算面では、苦しい状況ではあるが、協会加盟団体の理解・協力により、事業を消化している。これからも、いろんなスポーツ団体・競技が増えることが予測されるため、会員・団体の協会加盟を図ることが必要であり、加盟団体増により町民スポーツの発展が期待されるものと思われる。

事業名：図書館利用促進事業

担当課係	社会教育課　図書館係
事業概要	図書館利用促進のための各種事業を行う。
事業実績	子どもたちに対する読み聞かせ、図書ボランティアによるお話し会や図書館まつり等多くの催しを行うことにより、図書館の利用促進を図った。また、「桂川町子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館との相互利用や学校及び社会教育施設との連携を図り、読書に親しむ環境づくりに努めた。
総合評価	図書館司書、図書ボランティアの連携により、子どもから大人まで読書に親しむ活動を展開しているが、今後は、広報の充実に取り組み一人でも多くの町民に図書館に対する理解と協力を促し、図書館への興味・関心を得る。 また、桂川町子ども読書活動推進計画に基づき読書活動の推進を図る。更に司書・図書ボランティアの各種研修にも積極的に努め、町内図書ボランティアを組織化し、相互の協力体制の強化を目指す必要がある。

事業名：ブックスタート・フォローアップブックスタート事業

担当課係	社会教育課　図書館係
事業概要	乳幼児期に読書に親しむ活動の取組
事業実績	乳児健診時に図書ボランティアの協力と、健康福祉課との連携で 4 カ月の赤ちゃんに本の読み聞かせの後に、絵本をプレゼントするブックスタート事業は、5 年が経過した。 　同事業を更に発展充実させるため、近隣市町に先駆け「フォローアップブックスタート」を、7 カ月児及び 12 カ月児に対しても同様に絵本をプレゼントし、親子のふれあいや本に親しむ習慣を大切にする意識の醸成を図っている。
総合評価	両事業とも概ね好評である。乳児健診に欠席された方は、本事業を理解していただくよう図書館と保健師が連携し、絵本の提供を行い読書活動の推進を図っている。

２－（９）

青少年の健全育成

事業名：ひまわりアンビシャス広場事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	桂川東小学校体育館において、地域の大人が放課後児童の見守りを行う。
事業実績	毎週木・土曜日、毎月第一日曜日に広場を開設している。児童は体育館で自由に時間を過ごし、大人も一緒に遊びながら見守りを行っている。
総合評価	子どもたちは、自由な時間を学校の体育館で過ごし、健やかな時間を過ごしている。また茶道・踊り・短歌などを通して、礼儀作法なども身につけている。しかし、見守る大人の年齢が高く、後継者不足になりつつある。今後の事業推進・継続には、後継者の発掘及び担当課・学校との連携を強化し、事業の推進に努める。

事業名：夢・人・未来塾事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	登録された講師及びボランティアを中心に、放課後児童対策並びに子どもの見守りを基本に、各種体験教室を実施。
事業実績	小・中学生を対象に、13 種（華道・茶道・料理・木工手芸・絵手紙・ソフトバレー・卓球・農業体験・グラウンドゴルフ・カヌー・陶芸・自由塾・きんしゃい塾）15 教室を実施、多くの参加者を得ている。
総合評価	各教室（塾）は、生活の基本である挨拶等の指導も受けながら学んでいる。自由塾では楽しく自由に遊ぶもの、自然体験を主としたもの等、塾の運営委員会で協議し決定したことは良かった。自由塾の中で、弥山岳への軽登山を実施し、子どもたちに新たな体験を提供している。しかし、開催場所等の関係で、東小学校児童の参加者が少ないことが課題。東小等の要請により出前塾で対応してきた成果を今後とも継続する。

事業名：通学合宿事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	小学 6 年生を対象に 7 月に 6 泊 7 日、10 月に 5 泊 6 日の 2 回、住民センターを中心に通学しながら合宿を行う。
事業実績	7 月には桂川小の児童 13 名・東小 4 名の計 17 名、10 月には桂川小 12 名・桂川東小 1 名の計 13 名の児童が参加し、合計 30 名の児童が、約 1 週間を通して日常の生活やキャンプ場での自然及び野外活動を体験した。
総合評価	合宿生は自分達で食事・洗たくを行い、皆で協力しながら、決められたルールを守り、テレビもゲームも無い生活を住民センター・キャンプ場で行う。多くのボランティアの方々に協力をお願いし、指導していただかないとできない事業であることを痛感させられました。7 月は最終日に豪雨により、キャンプ場から住民センターに移動し、内容も一部変更し、無事に終えることができた。終了後、子どもたちの顔が晴れやかに変わったのを実感した。

事業名：桂川町子ども会指導者連絡協議会助成事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	子ども会指導者連絡協議会活動支援のための助成
事業実績	ものづくり、各種スポーツ大会、リーダーキャンプ、カルタ大会、田植え・稲刈り体験等地域子ども会との連携で事業を行ってきた。子どもたちの興味を引く事業で町内の子どもと大人の「ふれあい」に寄与した。
総合評価	地域子ども会が減少していく中、連絡協議会では地域ではできないような行事を実施し、子ども達の体験活動の場の提供している。昔ながらのキャンプから子ども達の興味を引くような新しい行事を開催するなど､｢大人と子ども｣や｢子ども同士｣のふれあいに寄与した。カルタでは、昨年度から筑豊大会にも参加し、他の市町村との交流も図れた。しかし、参加状況は、地域子ども会や子ども達は同じメンバーが多く、地域に子ども会組織のない子ども達が参加しにくいことも現状としてある。どのように地域を盛り上げ、参加者を増やしていくか緊急の課題である。

事業名：桂川町ＰＴＡ連絡協議会助成事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	各校ＰＴＡ、郡ＰＴＡ、筑豊ＰＴＡ、県ＰＴＡ活動を行うため、町ＰＴＡ連絡協議会に対し活動支援のための助成を行う。
事業実績	各校での活動、三校共同での活動を始め、筑豊・県のＰＴＡ活動を積極的に取り組んできた。近年は児童・生徒の学校生活も安定化の傾向にあり、これもＰ（親）とＴ（先生）の理解と協力体制が確立されてきたものである。今年度は、県ＰＴＡの助成金を活用し、「家庭教育の手引き」の冊子を作成した。
総合評価	親・子ども・学校（先生）・大人（地域）・行政が一丸となった取り組みがなければ、児童・生徒の健全育成は図れない。今後とも家庭・地域・学校の連携を深め、継続した取り組みが必要である。その中でも、三校ＰＴＡが中心となり開催している「子育てを考える地域懇談会」は、重要な取り組みとして継続することが大切である。しかし、役員以外の保護者の意識が希薄になっていることもあり、いかに保護者及び地域住民の参加を増やすかが課題である。

事業名：桂川町青少年問題協議会事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	青少年の指導、育成、保護、及び矯正に関し、関係団体・関係機関の意見交換を行い、青少年問題について町の総合的施策の樹立を図る。
事業実績	年３回の協議会を開催し、桂川町の青少年問題の現状を相互認識する。また、関係団体・機関において各々の取り組みが効果的に成果を上げるため、連絡体制の整備を図った。
総合評価	約２０の団体・機関が一堂に会する青少年問題協議会は、小中学校・嘉穂総合高校を始め、関係団体・機関の情報共有の場であり、連携した取り組みができる貴重な会議となっている。今後は、これらの団体・機関から出された意見・要望等を総合的施策に繋げ、青少年の健全育成に取り組む必要がある。また、「生き生き桂川っ子総合推進事業」との連携を強化していかなければならない。

事業名：桂川町青少年補導員会助成事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	補導員による、青少年非行防止のための補導活動を助成する。
事業実績	毎週月曜日のあいさつ運動や新学期ごとの早朝補導、夏まつりや学校休業日の夜間補導など年間を通じて補導活動を行った。また、青パトによる町内防犯パトロールを実施した。
総合評価	桂川町青少年補導員会は５班編成で構成され、各地区の補導を行っている。夏まつり開催時には小中学校及び総合高校のＰＴＡと連携した補導活動を行い、学校休業日の期間中にも各班による町内一円の夜間補導を実施した。 不審者等の出現もあり、青パト（５台）による効果的な巡回補導を強化する必要がある。

事業名：子どもの体力向上事業

担当課係	社会教育課　社会体育係
事業概要	子どもの基本的体力向上
事業実績	子どもたちの健全育成や体力向上のため、ミニバスケットボール教室を継続実施し、スポーツの楽しさを学んだり、仲間づくりや世代間交流の場となった。また、スポーツ推進委員会と協力し、運動の苦手な子どもやクラブ未加入の子どもを対象に様々なスポーツを体験する「わくわくスポーツ体験塾」を継続実施。とび箱からニュースポーツまでの指導を行った。
総合評価	「わくわくスポーツ体験塾」は、スポーツ推進委員会と協議を重ね、定員を増やすことでより多くの子ども達への指導ができ、好評な事業となった。また、夢・人・未来塾でも数多くのスポーツが取り入れられているが、各担当係・学校・子ども会等で連携し、基礎体力向上に向けた取り組みが必要である。同時に、スポーツ推進委員会や体育協会、更には、総合型地域スポーツクラブ「ｅ－ｓｐｏｔけいせん」とも連携を図り、協力体制の強化を図っていく必要がある。

２－（１０）

文化活動の振興と文化資源の保存・活用

事業名：文化連合会助成事業

担当課係	社会教育課　社会教育係
事業概要	文化連合会加盟のサークル等の活動助成として、連合会に対する助成事業
事業実績	文化連合会は 28 団体会員・7 個人会員で構成され、ステージ部門中心の「文連フェスティバル」、サークル発表の場「文化祭」等を目標に活気ある活動をおこなっている。また、県民文化祭と共催した町の文化事業では実行委員会を設置し、文化連合会と連携・協力を行い、本町出身の久保万里子さんと小野友葵子よるソプラノ・ピアノコンサートを実施した。
総合評価	文化連合会として事務局を持ち自立した活動ができている。しかし、文連フェスティバルや文化祭の事業を行うためには、町や県文化連合会等からの補助が必要である。本年度も、文化祭時に桂川中吹奏楽部による演奏を、桂川中文化発表会にダンスナッツが出演する相互交流が行われ、充実したものであった。

事業名：王塚古墳の保存・活用事業

担当課係	社会教育課　文化財振興係
事業概要	国の特別史跡である王塚古墳は、適切に保存するだけではなく、それを基に桂川町の文化的なイメージ作りの大きな柱として位置づけている。これを推進するために周辺の市町村との連携を行ったり、王塚装飾古墳館を中心として春秋の公開時や年間を通じて様々なイベントの開催や文化活動に際しての部屋の貸出しを行なう。
事業実績	春・秋の公開時を中心として、絵葉書収集家の平原健二氏の炭鉱関係コレクションを年に 5 回開催した。また、秋には、筑豊管内で毎年巡回で行っている発掘速報展「掘ったばい筑豊」を開催した。また、王塚古墳の公開に際し、春には、コダイム春祭りを開催し、地元商店街の出店の協力、フリーマーケットの開催、夢・人・未来塾による昔遊び等を行った。また、秋には、古代の謎フェスティバルと同時開催で事業を実施した。王塚装飾古墳館では、本年 2 団体、3 度の展示室の貸し出しを行った。
総合評価	春・秋の公開やそれに伴うイベントについては、概ね好評を得ている。炭鉱の絵葉書展についても、5 回の中では次の展示をたのしみにしているリピーターも見られた。 また、王塚装飾古墳館の活用、利用率を図ることは重要である。その中で新たな見学者やリピーターの獲得を図るための方策のひとつとして古墳館内の展示室等の有効利用であるが、前年度につづき団体の利用があり、本年も微弱ではあるが増加の傾向にある。今後あらゆる面での広報活動が必要と考え

	られる。王塚装飾古墳館においては、予算面やスタッフ等、最小限で運営しており、限界があるのが実情であるが、今後、益々の効率化を検討し新事業に取り組みたい。また、最近注目を集めている近代化産業遺産との連携も必要と考える。

事業名：民俗文化財の保存・継承事業

担当課係	社会教育課　文化財振興係
事業概要	町内においては、文化財のなかでも、民俗行事等は地域の特色をあらわし地域の結びつきのひとつともなっている。しかし、最近では、少子化や価値観の変貌により、衰退や消滅の危機にさらされている地域も多い。これらを後世に的確に伝えていくには、現状での実態調査が必要とされる。 このほか、桂川町は周辺の自治体と同じく旧産炭地であるが、これらを後世に伝えるハード面での資料がほとんど消滅に際している。このため、参考となるべく資料として土師九に所在する上嘉穂鉱の捲上台座を保存する。
事業実績	民俗行事についての実態調査については、今年度は、その予備計画を行った。 土師九の上嘉穂鉱捲上台座については、周囲を整備し廻りをフェンスで囲んだ。
総合評価	民俗行事については、他地域に無い貴重なものも所在するが、消滅の危機にあるものも確認されている。今後は、指定化を含みなんらかの保存措置の取組みが必要とされる。 上嘉穂鉱捲上台座については、町内で数少ない炭鉱遺産であり、保存できたことは非常に価値がある。今後は、文化財としての価値づけや活用法が求められる。

２－（１１）

人権・同和問題の教育・啓発

事業名：人権・同和問題「市民講座」

担当課係	社会教育課　隣保・人権同和教育係
事業概要	本町は、7 月を人権・同和問題の啓発強調月間としている。その 7 月第１日曜日に市民講座を開催し、講演会をとおして広く町民に、人権・同和問題の啓発を行うものである。
事業実績	７月１日、桂川町住民センターにおいて、増岡弘氏を招き「マスオさんのすべてのものに心を込めて」と題して市民講座を開催した。今年度は町内外併せて、約２２０人の参加者があった。
総合評価	今回は若い方の参加も比較的多く感じられた。今年度も広報や街頭啓発活動などでも、広く周知を図っている。講師の実体験に基づく話など、生きた声を参加者に届けることができる事業でもあるため、今後の継続は必要である。

事業名：人権・同和問題地域懇談会

担当課係	社会教育課　隣保・人権同和教育係
事業概要	行政管理職員や人権同和問題協議会、人権教育啓発す審委員会などから構成される４人一組の班を 9 班編成し、毎年 10 月に町内 34 行政区（35 会場）に啓発ビデオの視聴後に懇談を行っている。
事業実績	42 回目を迎えた本懇談会は、多くの方が参加できるよう今年度も夜間の開催とした。ビデオ教材に「人権のヒント~地域編~」を視聴し、約９０分間の懇談会を実施した。今年度の参加者は５１７名で、昨年度より４名増となった。
総合評価	人権・同和問題の解決は、一朝一夕でできるものではない。また、アンケートにも今後の継続を要望する意見も出されていることから、この取り組みは、今後も継続が必要である。

事業名：人権出前講座

担当課係	社会教育課　隣保・人権同和教育係
事業概要	町内の方を対象に、福岡県の講師団講師の派遣事業などを利用し、より専門的な人権問題について講師から話を聞くことのできる事業である。10 名程度の参加者のいる集会や会議などで利用できる。
事業実績	平成 22 年度より本事業を開始し、今年度は桂川町人権教育啓発推進委員による中学校へのゲストティーチャーの出前講座を実施し、活動の幅を広くしている。
総合評価	市民講座や人権・同和問題地域懇談会などへの参加ができない方などへの対応だけでなく、より専門的な勉強をしたい団体にも、この事業は人権教育啓発の

	一翼を担っているため、今後も継続は必要である。

事業名：嘉麻・飯塚・桂川地区人権啓発交流フェスティバル

担当課係	社会教育課　隣保・人権同和教育係
事業概要	２市１町（嘉麻市・飯塚市・桂川町）の広域による合同の人権啓発事業で、12月の人権啓発週間に合わせて開催している。国の補助金を隔年で利用し、様々な講師を招致している。
事業実績	開催地などは輪番制で行い、平成 24 年度は飯塚市穂波公民館で行われた。出前歌説法「心の健康～仏心は歌心」として、大分県の住職　南慧昭さんによる講演が行われた（１２月８日）。約 256 名の参加者のもと、第６回目となる本事業は、盛大に開催することができた。
総合評価	人権週間に合わせ行われる本事業は、人権啓発事業としてまた、広域的な取り組みとして重要な位置付けである。また、今年度で６回目を終えたことで、この事業が浸透してきたと思われる。今後も広く人権啓発活動を進める上でも、継続が必要と思われる。

３－(１)－⑦

桂川町教育委員会主催教職員研修会等

○　４月１１日（水）　教職員全員研修会（第１回）

○　４月１７日（火）　校長研修会（第１回）※校長、教育委員

○　６月２７日（水）　学力向上検証委員会研修会（第１回）※検証委員会委員

○　７月３１日（火）　主幹教諭、教務主任研修会（第１回）※主幹、教務主任

○　８月２９日（水）　教職員全員研修会（第２回）

○１１月　８日（木）　桂川町教育委員会研究指定委嘱校発表会 ※桂川幼稚園

○１１月１３日（火）　授業研修交流会（第１回）

・桂川中学校

・授業者＝全学年

○１１月１５日（木）　授業研修交流会（第２回）

・桂川東小学校

・授業者＝久保教諭　１年生・国語

○１１月２２日（木）　授業研修交流会（第３回）

・桂川小学校

・授業者＝大石教諭　５年生・道徳

○１１月２６日（月）　学力向上検証委員会研修会（第２回）※検証委員会委員

○１２月１２日（水）　主幹教諭、教務主任研修会（第２回）※校長、主幹、教務主任

○１２月２６日（水）　教職員全員研修会（第３回）

○　２月２０日（水）　学力向上検証委員会研修会（第３回）※検証委員会委員

○　２月２７日（水）　主幹教諭、教務主任研修会（第３回）※校長、主幹、教務主任

○　３月１８日（月）　校長研修会（第２回）※校長、教育委員

３－（3）
地域ぐるみで支えあう教育活動の充実

「生き生き桂川っ子」総合推進事業

事業の目的

(1)　学校と家庭、地域社会、各種団体、関係機関などがともに協力・連携しあい、桂川町の児童・生徒に「確かな学力」「豊かな心」を育成する。

(2)　本事業の取り組みを通して、児童・生徒の健全育成に向けた情報連携、行政連携が十分に機能する独自のネットワークを構築する。

事業の経過

4月11日	「生き生き桂川っ子」学校部会研修会①「町長講話ほか」
5月　8日	第1回実務担当者会 「協議会に向けて」
5月29日	第2回実務担当者会「広報誌の作成について」
6月　6日	協議会(第1回)　「平成24年度の取り組み」
7月　2日	児童会・生徒会合同あいさつ運動（第1回）
8月　6日	「生き生き桂川っ子」広報紙（第1号）配布
8月26日	「生き生き桂川っ子」学校部会研修会②「小中連携研修会」
9月10日	児童会・生徒会合同あいさつ運動（第2回）
11月　1日	児童会・生徒会合同あいさつ運動（第3回）
12月26日	「生き生き桂川っ子」学校部会研修会③「学力向上研修会」
1月22日	危険箇所断幕取り付け（住民センター横）
2月　1 日	児童会・生徒会合同あいさつ運動（第4回）
2月 26日	第3回実務担当者会「協議会に向けて」
2月 26日	第4回実務担当者会「報告内容の交流及び検討」
3月 26 日	協議会(第2回)　「平成24年度の総括と平成25年度の取り組み」

平成 24 年度 「生き生き桂川っ子」総合推進事業協議会構成団体

構成団体名	役職
教育委員会	教育長
桂川小学校	校長
桂川東小学校	校長
桂川中学校	校長
桂川町小中ＰＴＡ連絡協議会	副会長
桂川町老人クラブ連合会	会長
桂川町婦人会	会長
けいせん「夢・人・未来塾」	塾長
桂川町分館長会	天道分館長
桂川中学校「おやじの会」	事務局長
桂川町子ども会指導者連絡協議会	会長
桂川町青少年補導員会	副会長
桂川町商工会	理事
飯塚保護区保護司会桂川支部	分区長
民生児童委員協議会	主任児童委員
桂川町人権擁護委員	代表
ライオンズクラブ	ＹＣ委員長
桂川町の明日を創る会	会長
飯塚警察署	巡査部長(桂川交番)
桂川町就学前人権同和推進委員会	会長
嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	家庭児童相談員
田川児童相談所	桂川町担当相談員
福岡県立嘉穂総合高等学校	地域担当教諭
健康福祉課	課長
社会教育課	課長
学校教育課	課長

＜事務局＞教育委員会学校教育課